

デイケアのご案内

当センターでは、さまざまなプログラムを通して精神科外来患者さんの社会生活に必要な能力を回復すること、再発を予防することを目的にしています。

また、同じような悩みを抱える人達が互いに支えあえる場でもあります。

- ♡ 体調を整えたい。
- ♡ 規則正しい生活を送りたい。
- ♡ 日常生活をもっと有意義に過ごしたい。
- ♡ 人との付き合いがうまくなりたい。
- ♡ 仕事がしたい。
- ♡ 学校に行きたい。
- ♡ 悩みを話し合える友達が欲しい。

◇ デイケアは各種医療保険が適用され、「障害者自立支援法」もご利用頂けます。

◇ 様々な職種のスタッフが目的達成のためのお手伝いをいたします。

- ・精神科医師 ・看護師 ・ソーシャルワーカー
- ・作業療法士 ・臨床心理士 ・院外講師 ほか

◇ いろいろなプログラムをご用意してありますので通所者の目的に合わせて、選択出来ます。
(半日のみの参加も可能です。)

《 活動風景 》

- ♡ 創作活動(革工芸、七宝焼など)
- ♡ 就労プログラム
- ♡ スポーツ
- ♡ 余暇活動(ゲームなど)
- ♡ 料理教室
- ♡ 学習プログラム(心理教育、パソコン教室)
- ♡ 社会技能訓練(SST)
- ♡ 新入所者グループ活動…デイケアに慣れていただくためのプログラムです。



パソコン教室



就労(洗車)プログラム

ゲームや軽スポーツ等の無理のない活動を行っています。
新入所の方は原則的にしばらくはこの活動のみの参加となります。

- ♣ 通常の活動の他にキャンプ、バスハイク、スポーツ大会などのレクリエーションを行っています。
- ♣ 定期的にご家族の方を対象にした家族支援の会や面接を行っています。

※プログラムは変更する場合がありますので、スタッフにお尋ね下さい。

お問い合わせ先: 久留米大学病院デイケアセンター
〒830-0011 久留米市旭町 67
TEL : 0942-31-7630 (月～金 9:00～17:00)

リワークプログラムのご案内

(うつ病復職支援)

当プログラムは、うつ病と診断され、現在休職中の方を対象に、さまざまなプログラムを通して、復職支援の手助けを行っています。うつ病によるつらい思いを繰り返さないために、日常生活や職場内におけるストレスへの対処方法や、自身で気分をコントロールできる方法などを身につけることが大切です。そのようなことを目標として様々なプログラムを行っております。

◇対象となる方

- ・うつ病と診断され、現在精神科や心療内科で治療中の方。
- ・復職を希望しており、復職先、再就職先の見込みがある方。
- ・復職プログラムの参加について、主治医の了解を得られている方。
(現在通院中の病院の主治医からの紹介状が必要になります。)
- ・原則として、当院で行うプログラムのすべてに参加可能な方。
- ・以下の診断を受けている方は対象となりません。
統合失調症、双極性障害(躁うつ病)、認知症、パニック障害、アルコール依存症、人格障害、摂食障害、発達障害

◇参加までの流れ

- ・主治医と、本プログラム利用についてご相談されてください。
- ・希望される場合には、見学、プログラムの説明を行います。
- ・主治医から依頼を受けた後、利用に関する面接を行います。
- ・面接後、導入のための判定会議を行います。
- ・後日参加決定とスケジュールについてご連絡させていただきます。

※他精神科病院受診中の方は、まずは主治医の紹介状を持参して、当科外来を受診していただくこととなります。

◇期間

- ・3ヵ月を1クールとして、最大1年(3クール)まで利用できます。
実施時期は、1～3月、5～7月、9～11月の各3ヵ月で、4、8、12月はお休みとなります。
なお、1クールごとに継続の申請手続きが必要となります。

◇プログラム内容

曜日	午前	午後
毎週火曜	クラフト	認知行動療法
毎週木曜	心理教育	軽スポーツ

※当院での復職プログラムは週2日です

リワーク(復職支援)プログラム

◇プログラムの概要

[クラフト]

ペーパークラフトや革細工などの手工芸を利用して、一定時間集中し持続できる。正確に作業する。指示どおりに作業を理解し行う。自分のペースを見極める。などの作業遂行能力を高めていきます。

また、他者と上手に接したり(会話・配慮・協調性)、困ったときには報告・相談ができるなどの対人交流能力を高めていきます。さらに、作業の進行具合や達成度から、自分自身の回復の度合いを知ったり、自信や意欲を再獲得していくことを目的に行われます。



クラフト風景(ペーパークラフト)

[認知行動療法]

認知行動療法とは、気分は行動や認知のあり方(ものの考え方や受け取り方)の影響を受けることから、認知の偏りを知り、気分の安定を図っていく方法を見つけるプログラムです。

このプログラムでは、グループ形式で、より気分が楽になる考え方、気分に影響を及ぼす行動、対人関係などについて学び、日常生活で実践していただきます。



集団認知行動療法風景

[心理教育(IMR)]

IMR(Illness Management and Recovery の略)は、自分自身の病気を管理し自分の生活を前進させるために作られたプログラムです。ここではグループ形式で一定のカリキュラムに沿ってプログラムが進めていきます。



IMR風景(ストレスについて)

[軽スポーツ]



うつ病の回復期にあつて、復職を目標としている方には、体調を整え、休息期間中の体力の衰えを回復するという目的で適度な運動は有効です。

また、適度な運動はストレスを発散させて気分転換をもたらしたり精神状態を安定させるのにも有効です。

このプログラムでは、医師や看護師によるヘルスチェックを受けながら、メンバー同士の交流を深めたり、楽しめる要素を含んだ様々なスポーツ種目を実施しています。

◇料金について

各種保険および自立支援医療制度が適用となります。

・3割負担の方 : 2,460 円/日

・自立支援利用: 820 円/日

※昼食代は・・実費(自己負担)

お問い合わせ先: 久留米大学病院デイケアセンター

〒830-0011 久留米市旭町 67

TEL : 0942-31-7630 (月~金 9:00~17:00)